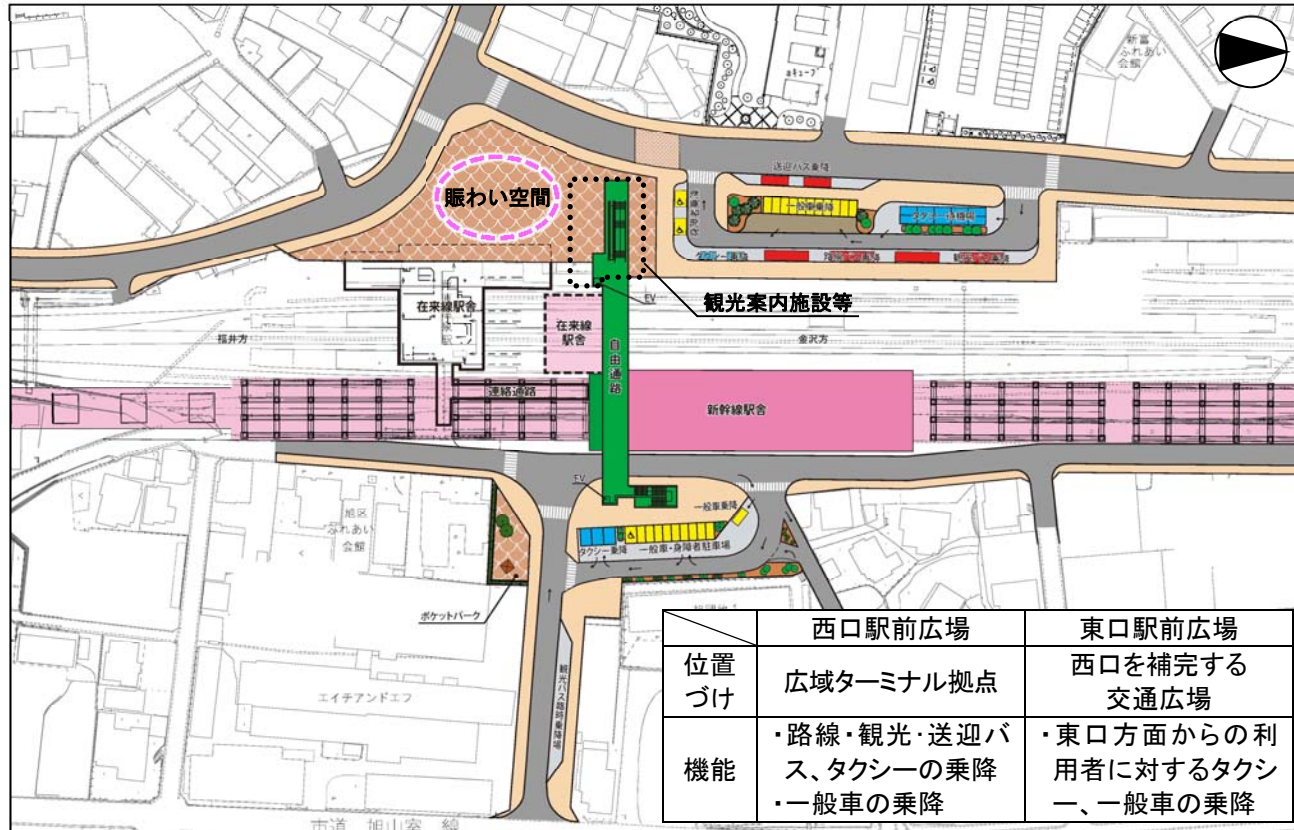


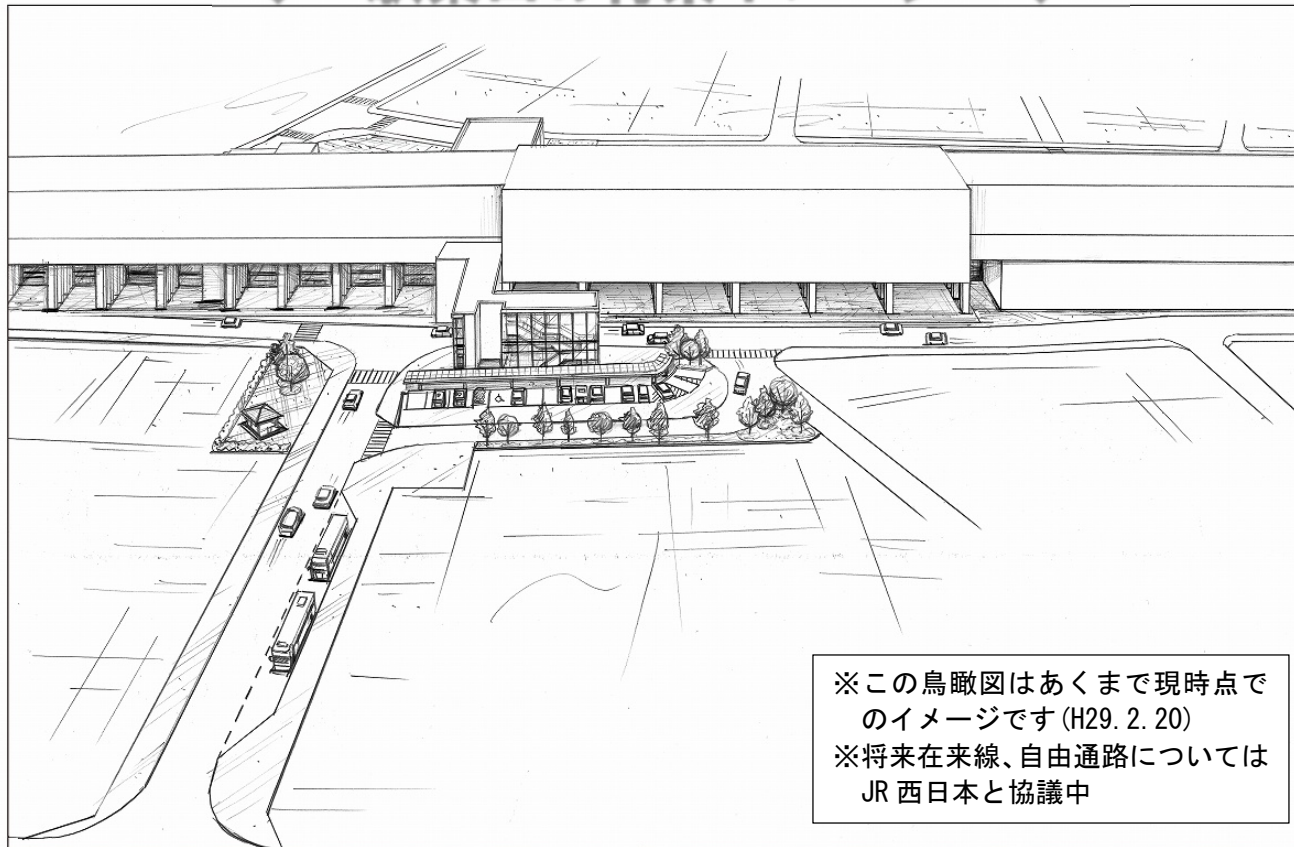
芦原温泉駅周辺整備基本計画（改定）

～北陸新幹線芦原温泉駅の開業に向けたまちづくり～

◆ 西口及び東口駅前広場のレイアウト（案） ◆



◆ 駅東口の将来イメージ ◆



芦原温泉駅周辺整備基本計画書（改定）

発行日 平成29年3月
編集 あわら市土木部 新幹線推進課
Tel 0776-73-8034 Fax 0776-73-5688
E-mail shinkansen@city.awara.lg.jp

◆ 芦原温泉駅周辺整備基本計画について ◆

平成34年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向けて、現在、あわら市や福井県を始めとする周辺自治体が一丸となって様々な取り組みを進めています。

あわら市においては、平成18年3月に策定した『芦原温泉駅周辺整備基本計画』に基づき、各種事業を進めてきましたが、新幹線計画の具体化、時間の経過に伴う交通条件等の変化、地域ブランド創出事業など本市における新たな取組などを背景に、この度、計画の改定を行いました。

改定のポイント①：芦原温泉駅周辺の基本構想の見直し

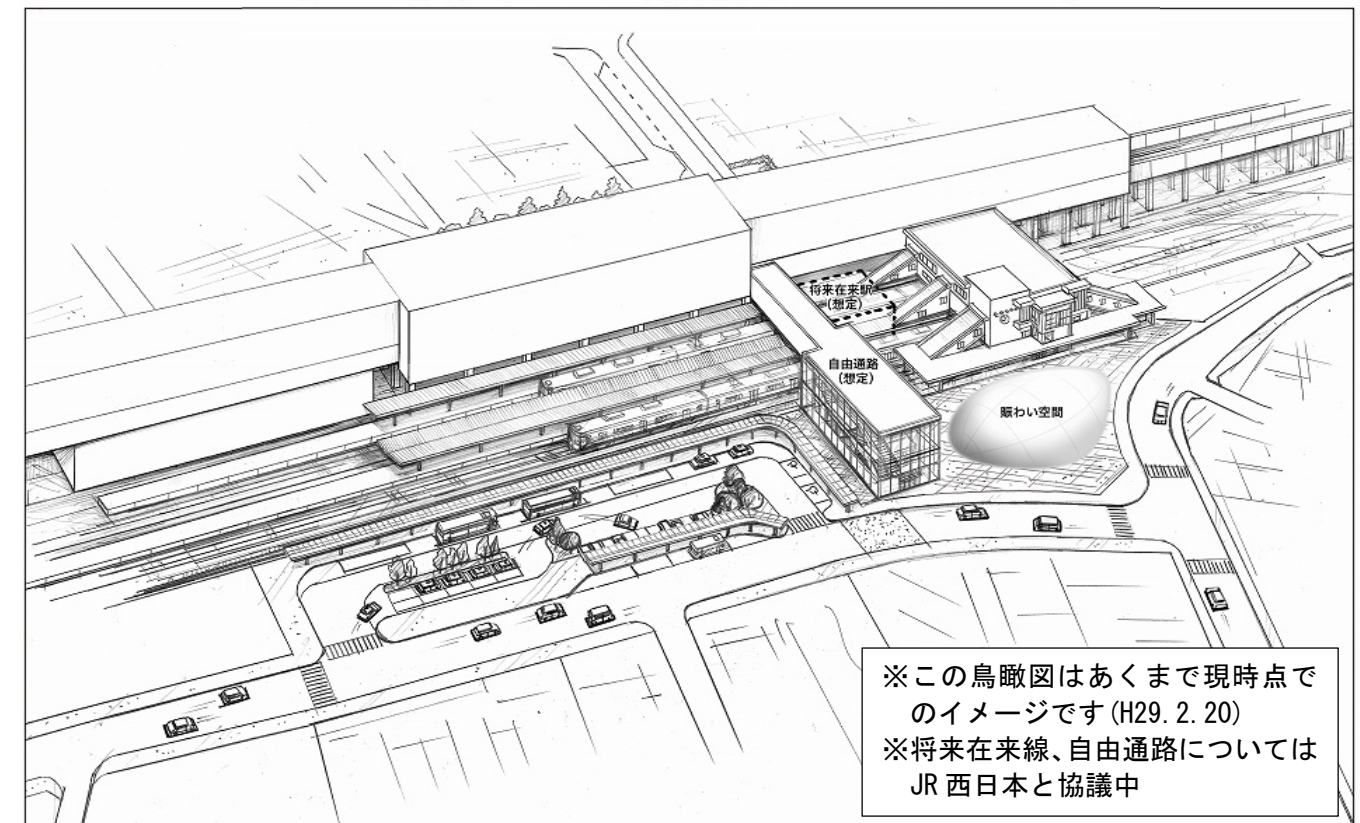
②：交通施設計画（駅舎、自由通路、アクセス道路、駅前広場等）の見直し

③：新たなエリア設定、都市景観形成に係る計画の見直し

◆ まちづくりのテーマ ◆

みんなでつくる
ぜいたく
都会にはない贅沢があるまち

◆ 駅西口の将来イメージ ◆



駅周辺施設の位置・規模及び整備イメージ

① 西口アクセス道路

西口アクセス道路は、主要観光地であるあわら温泉街方面との連絡を考慮し、新たに芦原温泉駅と県道水口牛ノ谷線を結び形で計画します。景観に配慮した、両側歩道を有する幅員14mの道路を計画します。

② 西口広場

西口広場は、現在の広場北側の市営駐車場を活用し北側方向へ拡張した面積約6,600㎡の区域とします。広域ターミナル拠点として、路線バスやタクシーといった公共交通や旅館送迎、一般車送迎の乗降機能を配置し、福井県の北の玄関口として駅利用者の利便性を高めます。

※整備イメージは、駅西口の将来イメージを参照のこと

③ 東口アクセス道路

東口アクセス道路は、新幹線口と市道旭・山室線を結ぶルートとし、駅舎の正面に位置する市道171号線を拡幅・強化します。東口のシンボル道路として景観に配慮した、両側歩道を有する幅員14mの道路を計画します。

④ 東口広場

東口広場は、東口方面からの日常的な利用、西口広場の機能補完に対応できるように、新幹線駅正面の面積約1,700㎡の区域とします。

※整備イメージは、駅東口の将来イメージを参照のこと

⑤ 賑わいと交流ゾーン

広域的な賑わい・交流拠点である西口を中心とした駅直近部を「賑わいと交流ゾーン」として位置づけ、以下に示す各エリアの特性に応じた賑わい、交流を創出します。

交流拠点エリア

- ・観光客や市民、地域住民など様々な人達が集い、交流
- ・観光や生活などに関する様々な情報を発信
- ・一過性の賑わいではなく、常時賑わいを創出

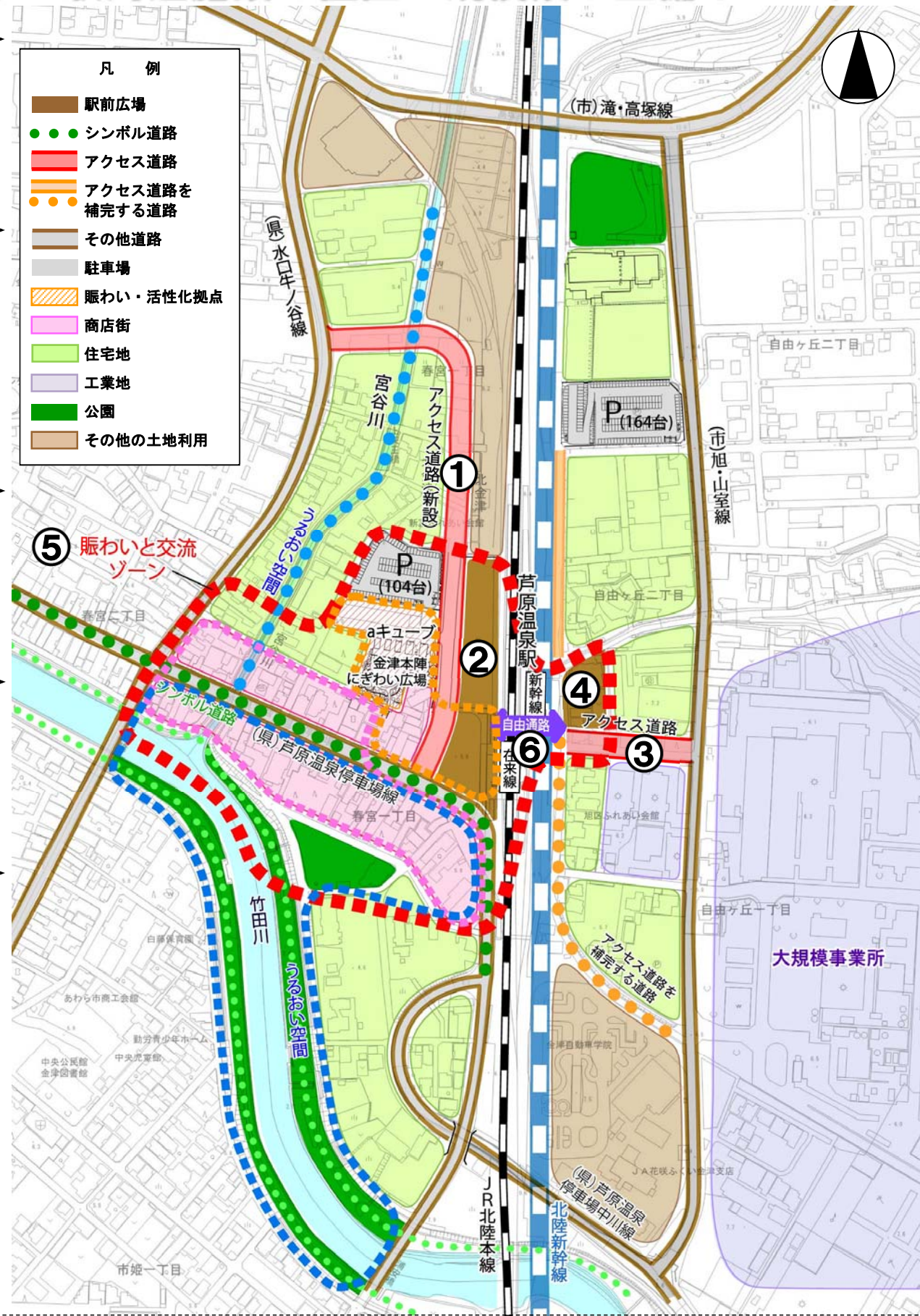
駅前商店街エリア

- ・駅前商店街のリノベーションにより、まちなかの回遊を促進
- ・新幹線開業を契機に商店街を活性化

うるおいエリア

- ・竹田川のうるおい空間を活かし、駅周辺にあっても自然を身近に感じ、ゆったりした時間を過ごせる場を創出
- ・駅前だけでなく、竹田川までを含めた歩行者の回遊を促し、駅周辺一帯の賑わいを創出

凡 例	
	駅前広場
	シンボル道路
	アクセス道路
	アクセス道路を補完する道路
	その他道路
	駐車場
	賑わい・活性化拠点
	商店街
	住宅地
	工業地
	公園
	その他の土地利用



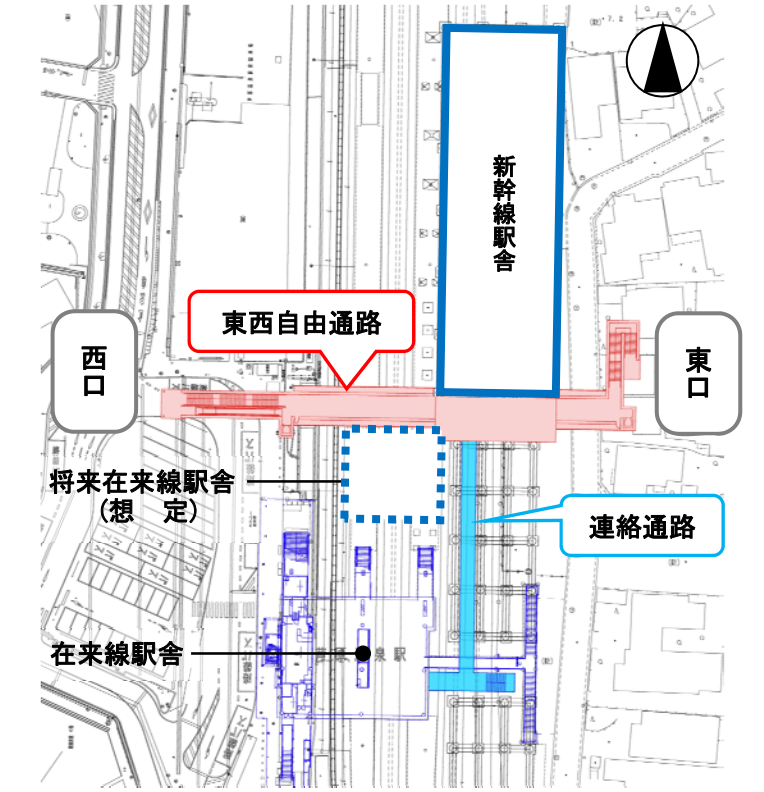
※駅周辺施設の整備イメージはあくまで現時点での案であり、今後、市民の皆さんやその他関係者の意見・要望を反映させていく必要があります。

⑥ 駅舎および東西自由通路

新幹線駅舎は現駅舎の北側(金沢より)に計画します。在来線駅舎は北陸新幹線金沢・敦賀間開業時には現駅舎を利用することとし、第3セクター設立後、直ちに移設に向けた検討を開始します。

東西自由通路は新幹線駅舎の南端(福井より)に計画します。幅員は4.5mとしますが、駅舎の詳細な位置等が決定した際に幅員6.0mを視野に再度検討します(現在、JR西日本と協議中)。

なお、現駅舎を利用する間は、乗り換え利便性に配慮し、両駅舎を幅員2.5mの連絡通路で結びます。



◆ 今後の予定 ◆

- 『駅前広場(西口、東口)』『アクセス道路(西口、東口)』『東西自由通路』は、平成29年度末の都市計画決定に向けて手続きを進めます。
- 平成34年度の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、東西駅前広場、東西アクセス道路、自由通路及び、aキューブ周辺等の整備を順次行います。
- その他の事業や取り組みについては、開業後の早い段階での実現に向け、検討を進めます。